様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科			12単位	124単位	136単位	13単位	

（備考）

「学部等共通科目」欄は、本学の「教養科目」の状況を記載。
「専門科目」欄は、本学の「専門関連科目」の状況を記載。
　実務経験のある教員等による授業科目の単位数（136 単位）には、選択科目（24 単位）及び選択必修科目（8 単位）が含まれる。
必修科目のみによる実務経験のある教員等による授業科目の単位数は 104 単位。

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

下記ＵＲＬアドレスで公表。
https://www.okinawa-nurs.ac.jp/zaikousei/gakubu_syllabus/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学理事長

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/information/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	国立大学法人特別顧問	2 年(R4.4.1～R6.3.31)	地域連携・運営
非常勤	私立大学教授	2 年(R4.4.1～R6.3.31)	大学教育全般
非常勤	株式会社役員	2 年(R4.4.1～R6.3.31)	経営
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

(1) 授業計画書（シラバス）作成過程

①成績評価を行う各授業科目の責任者（以下「科目責任者」という。）が、授業の到達目標を達成するために、以下の内容を定めて、授業計画書（シラバス）を作成する。

・授業の内容や計画
・使用するテキスト
・参考文献
・他の授業科目との関連
・成績評価方法
・学習相談・助言体制
・学習指導法の工夫
・特記事項

②各科目責任者が作成した授業計画書（シラバス）を教務委員会に諮った上で全授業科目の授業計画書（シラバス）を決定する。

(2) 授業計画書（シラバス）の公表時期・方法

大学の公式ホームページ上において、年度開始までに公開

授業計画書の公表方法	https://unipa-web.okinawa-nurs.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

(1) 取組の概要

授業科目の履修方法や成績について、教務委員会において「履修規程」、「履修要領」、「成績評価ガイドライン」を定めている。

その上で、授業計画（シラバス）に記載されている「成績評価の方法」により評価を実施。

(2) 成績評価の基準

次項の(1)指標の算出方法に記載。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

(1) 指標の算出方法

成績の評価、評点、評価内容の基準を以下のとおりに定めている。

（履修規程より抜粋）

評語	評点	内容	GP	判定
S	90 点以上 100 点以下	特に優れた成果を挙げている。	4	合格
A	80 点以上 90 点未満	学習目標を十分達成している。	3	
B	70 点以上 80 点未満	学習目標を達成している。	2	
C	60 点以上 70 点未満	学習目標を最低限達成している。	1	
F	60 点未満	学習目標を達成していない。	0	不合格

GP：Grade Point

GPA（Grade Point Average）計算式：
（S 評価の単位数×4 点＋A 評価の単位数×3 点＋B 評価の単位数×2 点＋C 評価の単位数×1 点＋F 評価の単位数×0 点）÷履修単位数の合計
※端数がある場合は、小数点第２位を四捨五入して算出する。

(2) 成績の分布状況

別添のとおり

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/zaikousei/pages2815/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。 １　生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を有している。 ２　良識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。 ３　看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。 ４　保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種等との連携・協働の中で専門職者としての看護の役割を遂行できる能力を有している。 ５　グローカルな視点をもち、人間の置かれた地理的文化的特性および多様性を理解し、地域に根差した保健看護活動ができる能力を有している。 ６　社会の変化に対応できる看護職者として課題探求能力を有している。 ７　研究的態度を身につけ、保健看護活動を通して看護の発展に寄与する能力を有している。 本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和４年度 公立大学法人沖縄県立看護大学中期計画に基づく年度計画 対象年度：R4）
公表方法： https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/information/
中長期計画（名称：公立大学法人沖縄県立看護大学中期目標 対象年度：R4～R9）
公表方法： https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/information/

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法： https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/zengakujikotenken/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法： https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/zengakujikotenken/

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　看護学部　看護学科
教育研究上の目的 （公表方法：　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/rinen/　）
（概要） ▼大学の目的 　生命の尊厳を重んずる豊かな人間性を育成するとともに、看護に関する高度な専門的知識や技術を習得させる ことにより、保健医療福祉の分野において看護を科学的に実践し、人々の健康と福祉の向上に貢献することのできる人材を育成することを目的とする。 ▼大学の使命 　本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請、また、グローバル時代のおける人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健・医療・福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的発展に寄与することです。 ▼教育理念・教育目標 　本学の教育理念は、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、変化の進む社会において幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、それにより人々の健康と福祉に貢献することである。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/　）
（概要） 　本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。 １　生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を有している。 ２　良識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。 ３　看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。 ４　保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種等との連携・協働の中で専門職者としての看護の役割を遂行できる能力を有している。 ５　グローバルな視点をもち、人間の置かれた地理的文化的特性および多様性を理解し、地域に根差した保健看護活動ができる能力を有している。 ６　社会の変化に対応できる看護職者としての課題探求能力を有している。 ７　研究的態度を身につけ、保健看護活動を通して看護の発展に寄与する能力を有している。 　本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議し卒業を認定している。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/　）

（概要）

本学の教育目標と学位授与方針を達成するために、下記の方針に基づき、カリキュラムを体系的に編成し実施します。

1　生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を育むために、生活者の視点で健康現象をとらえる保健看護の概念に基づき看護教育課程を編成する。
2　良識ある社会人としてふさわしい知性と態度を磨くために、多様で豊かな教養科目を設定する。
3　看護の場を地域全体として捉え、多様な場や対象、健康レベルに応じた看護実践力を身につけるために、看護の専門科目を設けて適切に配置する。
4　科学的な根拠に基づく判断力と問題解決能力を身につけるために、看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を基礎から応用へと順序性を考慮した科目を配置する。
5　保健・医療・福祉の概念を共有した活動の中で看護の役割を遂行する能力を身につけるために、関連職種等と連携・協働しながら看護の役割を学修する科目を配置する。
6　グローカルな視点をもち、地理的文化的特性および多様性を理解し、地域に根ざした看護実践能力を身につけるために、沖縄県の島嶼性や太平洋に開かれた地域性を活かした科目を配置する。
7　社会の変化に対応できる看護職者としての課題探求能力を身につけるために、学生の主体的な関心を基に、幅広い課題を取り上げて、課題解決に取り組む科目を初年次から配置する。
8　研究的態度や看護の発展に寄与する能力を身につけるために、最終年次では、看護実践の中から見出した課題に対して、看護を探求し統合できる科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/　）

（概要）

本学では、教育理念を実現するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。

1　生命を大切にする倫理観を備えている。
2　人々の健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという思いを持っている。
3　大学での学修を継続できる基礎的学力を有し、論理的に考えることができる。
4　自律的な行動と主体的な学びを重視して、自己研鑽に努める習慣がある。
5　人間の多様な在り方を尊重でき、沖縄やその他の地域の地理的文化的特性とこれらの地域での活動に関心を持っている。
6　他者への関心と理解する姿勢を持っている。
7　目的に向かって自身の役割を主体的に果たせ、他者と共同して活動できる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/pages1210/soshiki/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
看護学部	－	11 人	10 人	5 人	9 人	7 人	42 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	83 人	83 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/kyouin/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

「コロナ禍でも可能な国際研究」をテーマとした FD を開催、29 名の教員が参加した。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
看護学部 看護学科	80 人	80 人	100%	320 人	327 人	102.2%	0 人	0 人
合計	80 人	80 人	100%	320 人	327 人	102.2%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
看護学部 看護学科	72 人 (94.7%)	4 人 (5.6%)	67 人 (93.1%)	1 人 (1.4%)
合計	72 人 (94.7%)	5 人 (5.6%)	67 人 (93.1%)	1 人 (1.4%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
琉球大学病院、沖縄県病院事業局、中頭病院 等

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業計画書（シラバス）において、年間の授業計画や各科目の授業方法及び内容を記載している。

【シラバス掲載ＵＲＬ】
https://unipa-web.okinawa-nurs.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
看護学部	看護学科	130 単位	有・無	単位
	看護学科 ※助産師国家試験受験資格を得ようとする者	150 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/campus/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考 （任意記載事項）
看護学部	看護学科（県内居住者）	535,800 円	282,000 円	円	
	看護学科（その他の者）	535,800 円	512,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
1　修学相談
　担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。
2　国家試験対策講座の開催（時期６月、１２月、１月）
3　異学年との交流

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
1　就職情報の提供
　図書館に進路コーナー「ラーニングコモンズ」を設置し、県内外の採用情報を掲示しています。
2　各学年担当教員による個別進路相談
3　３年次と４年次との情報交換会
　国家試験終了後から卒業式までの間を予定しています。
4　県内保健・医療機関等による職員採用説明会
　３月初旬、３年次向けに本学で実施予定です。
5　進路意向調査の実施（４年次対象）
6　就職セミナー
　４年次を対象に、「小論文の書き方」「面接の受け方」等について、セミナーを開催しています。
7　就職・進学試験案内のファイリング（４年次対象）
8　卒業前交流会（４年次対象）
　卒業生間、卒業生と同窓生間の情報交換を行い、就職に向けた準備を行います。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
健康相談の窓口として、保健室において健康管理、疾病予防を進めています。
また、外部のスクールカウンセラーを設置し、月２回カウンセリングを実施しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/pages1210/kyouikukatudou/